

政令市の初年度予算・・・厳しい財政 暮らし・福祉を優先に！

3月議会に、政令市の初年度予算が提案されました。政令市移行に伴い、増えた財源で各種施策を充実するといいますが、その実態は・・・

期待されていた「宝くじ」収入は ほとんど増えません

政令市移行で、増える財源の目玉とされていた「宝くじ収入」は、14億3,400万円の収入増です。しかし、これまで県の宝くじ事業から熊本市へ配分されていた「市町村振興協会配分金」13億円が来なくなるので、実際に増える「宝くじ収入」は1億3,400万円のみです。

「国県道事業」引継ぎで増える「借金」 総額 286 億円

引継ぐ「国県道管理」の事業費は約140億円、うち4割近くは新たな借金です。しかも、「国県道管理」引継ぎと合わせ、過去に県が整備した道路の「借金」総額286億円を引継ぎ、支払っていきます。

(本年度支払額 15億4,440万円)

市民に押付けられる「値上げ」の数々

市民の8割が、「生活が苦しくなった」と悲鳴を上げる中、いくつもの値上げ・有料化が提案されています。

- ・ 介護保険料値上げ
(基準で月額1,000円以上)

- ・ 市営自転車駐輪場の有料化
- ・ 動植物園駐車場の有料化

* 合併3町の国保料引き上げ

「ハコモノ建設」の財政への負担

今年度オープンした「森都心プラザ」の維持管理費は年間5億円、「城彩苑」が2億円です。後年度への大きな負担となります。

しかも、建設費だけで100億円を超える3,000人収容の国際会議場建設は、採算が心配される中、強行されようとしています。

益田牧子議員一般質問、3月2日、午前10時～

(質問項目)～議会棟5階・傍聴にお出かけ下さい。

- 1、市民の暮らしと消費税増税と社会保障一体改革について
- 2、合併・政令市移行の問題点～合併特例区の廃止、同和運動団体への補助金廃止など

3、「日本一暮らしやすい政令市」の現実と課題

- * 3000人収容のコンベンション施設でなく産業文化会館の再利用を
- * 子育て日本一への提言:県下最低の子ども医療費助成を中3年生へ
少人数学級を小学5・6年、中学2・3年生まで拡充を、普通教室にエアコン設置
- * 「健康都市宣言」に相応しい予防行政の推進、国保料の引き下げ
- * 安心できる老後保障:介護保険料引上げ中止、健康を支える配食サービスの実施など
- * 自然エネルギーへの転換、地下水保全、生ごみの資源化
- * 地域循環型の経済の振興:県外大型店の出店問題、住宅リフォーム助成制度実現

4、職場の民主主義の確立:パワハラ防止、市民に奉仕する職場へ

(控室から) 益田牧子

「50分の1への改悪」は許さない。

政治倫理条例の心臓部分である市民の「調査請求」権が、有権者の50分の1、収集期間は1ヶ月間へと、改悪されようとしています。

そもそも、政治倫理条例制定は、学者法律家に条例案の作成を委嘱し、議員提案により、1990年、全会派一致で制定されました。特徴は、議員・市長の遵守すべき「倫理基準」を規定し、市民の請求に基づき、違反の有無を政治倫理審査会が審査することにあります。これまで、市民による「調査請求」は、3回提出され、村山義男議員(当時)への辞職勧告決議など、「政治倫理」の確立に、大きな役割を發揮しました。

現在の「調査請求に必要な有権者の署名数」は200分の1。「ルーズにする」と濫用のおそれがあり、厳しく要求すると調査請求の機能が制限されることになりかねない」と、200分の1に決められた経緯があります。

また、200分の1だからと濫用されたわけでもありません。私は、「200分の1から50分の1にすれば、ハードルが高くなり、条例は絵に描いた餅になる」と「議会活性化委員会」で反対を表明しています。政令市移行のドサクサ紛れ、市民そっちのけに、議会の多数を頼んだ政治倫理条例の改悪は許せません。

日本共産党 市議会だより

発行:日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

No.790

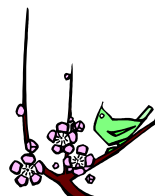
2012年2月26日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム: http://www.jcp-kumamoto.com/



総額

大幅黒字なのに理不尽な10億円の後期高齢者医療保険料の引上げ

2月16日、後期高齢者医療広域連合議会が開催されました。日本共産党からは、益田牧子熊本市議と荒木俊彦大津町議が出席。「保険剰余金(39.5億円)、県財政安定化基金(35億円)を活用すれば、保険料引上げは必要ない」と追及。「健診費用無料化は2600万円のできる。人間ドック助成は市町村へ徹底を!」と予防行政の拡充を幸山連合長に求めました。一番の問題は、「高齢者差別・会計別立て制度」が存続することを前提に、2年後の5.44%・総額22億円もの保険料引上げが織り込まれた予算になっていることです。

平成24年度 保険料率改定における所得階層別比較

年金収入	所得額	保険料算定時 被保険者数	単身世帯			
			均等割 軽減割合	旧保険料	新保険料	差額
800,000	0	194,600	9割	4,700	4,700	0
1,300,000	100,000		8.5割	7,000	7,100	100
1,530,000	330,000		8.5割	7,000	7,100	100
1,540,000	340,000	9,340	8.5割	7,500	7,600	100
1,680,000	480,000		8.5割	13,800	14,100	300
1,690,000	490,000		2割	44,800	45,700	900
1,870,000	670,000	7,040	2割	52,900	54,000	1,100
1,880,000	680,000		2割	53,400	54,500	1,100
2,030,000	830,000		2割	60,100	61,400	1,300
2,040,000	840,000	2,489		70,000	71,500	1,500
2,110,000	910,000			73,100	74,700	1,600
2,120,000	920,000			100,200	102,500	2,300
2,380,000	1,180,000	8,086		123,700	126,600	2,900
2,390,000	1,190,000			124,600	127,500	2,900
2,700,000	1,500,000		9,178		152,600	156,200
3,000,000	1,800,000	25,179		179,700	184,000	4,300
3,300,000	2,100,000			206,800	211,800	5,000
3,900,000	2,550,000			247,400	253,400	6,000
4,200,000	2,785,000	3,686		268,600	275,200	6,600
4,700,000	3,210,000			307,000	314,500	7,500
5,000,000	3,465,000			330,000	338,200	8,200
5,300,000	3,720,000	1,408		353,100	361,800	8,700
5,600,000	3,975,000			376,100	385,400	9,300
6,000,000	4,315,000			406,800	416,900	10,100
6,300,000	4,570,000	862		429,800	440,500	10,700
6,600,000	4,825,000			452,800	464,100	11,300
7,000,000	5,165,000			483,600	495,600	12,000
7,210,000	5,343,500	411		499,700	512,100	12,400
7,220,000	5,352,000			500,000	512,900	12,900
7,690,000	5,751,500			500,000	549,900	49,900
7,700,000	5,760,000	2,804		500,000	550,000	50,000

今回の保険料引上げは、額年間400円以下が約6割。月額保険料4000円以下が76%です。介護保険料引上げとダブルパンチになり、暮らしは大変です。

熊本県の保険料収納率は、99.26%、全国25位。滞納率は、1.64%で13位。ところが、被保険者総数に占める短期保険証の発行件数は、ワースト5位。発行の目的は、「被保険者とのコンタクトを取り、実情把握」にあります。3か月という短い「ペナルティ的」な運用の改善を求めました。

県内でも発行0の自治体が9町村、1件は、山鹿市をはじめ10市町村あります。ワースト1位は熊本市、2位・天草市、3位・八代市です。

広域連合別短期保険証交付率ワースト5位(2011年6月1日付け)

順位	府県名	交付者数(人)	割合(%)
1	兵庫県	2581	0.42
2	長崎県	793	0.40
3	大阪府	3216	0.39
4	青森県	675	0.36
5	熊本県	815	0.32

貧しい熊本県広域連合の保健事業、無料歯科検診を!

○九州各県における保健事業の内訳(歯科検診の実施など、はり・きゅう施術費の助成など)

九州各県の保健事業

事業名 県名	重複・頻回受診者 訪問指導	人間ドック 助成	健康教室	口腔ケア	はり・きゅう・あんま・マッサージ助成	肺炎球菌 ワクチン 助成	健康相談
福岡県			○		○	○	
熊本県	○	○	○				○
長崎県	○			○	○		
大分県	○	○			○	○	
佐賀県			○		○	○	○
宮崎県	○				○		
鹿児島県	○	○	○	○	○		
沖縄県	○	○	○		○	○	